

教員名	荻原 千鶴 (OGIHARA Chiduru)
所 属	文教育学部言語文化学科日本語・日本文学講座
学 位	博士 (人文科学) (1996 お茶の水女子大学)
職 名	教授
URL / E-mail	iwasaki.ogihara.chizuru@ocha.ac.jp

## ◆研究キーワード

古事記 / 風土記 / 万葉集

## ◆主要業績

- ・『出雲国風土記』の説話表現—感情の描出をめぐる—  
(『風土記の表現 記録から文学へ』笠間書院、121～136 頁、印刷中)

## ◆研究内容

『出雲国風土記』の説話表現については、他国風土記に比して顕著な特性がある。神を行為主体としその行為を地名起源に結ぶことがパターン化しており、その意味などをこの数年来研究テーマとし、いくつかの論文を公表してきたが、2006 年度にはその感情表現の特性について研究した。『出雲国風土記』の説話の感情表現の乏しさが何を意味するかを研究するために、『風土記』はもとより『古事記』『日本書紀』『日本霊異記』など、日本上代散文作品全般にわたってデータをとり、整理考察し、それが『出雲国風土記』における数理的な特性と相まって、先鋭に自覚された方法論の所産であることを考究した論文を発表した(『出雲国風土記』の説話表現—感情の描出をめぐる—『風土記の表現 記録から文学へ』笠間書院、121～136 頁、他の研究者の入稿遅延のため刊行が遅れ、現在印刷中)。

## ◆教育内容

学部では、日本古典文学史論 (上代)・日本古典文学論特殊研究 (韻文)・日本古典文学論基礎演習 (上代)・日本古典文学論演習 (上代)・日本文学研究指導・基礎ゼミ I の授業を担当した。このうち文学史は、『古事記』『日本書紀』『風土記』を中心に文学の史的展開について講じた。特殊研究では『万葉集』の相聞歌を取り上げ、その変容と歌人の特性を考察する教育を行った。基礎演習では日本文学を研究するにあたっての基礎的トレーニングを、演習では日本上代文学を研究するにあたってのトレーニングを指導した。日本文学研究指導では、学生の卒業論文作成のための指導を行い、卒業論文を完成させた。また学部 4 年生全体に対し、パソコン操作等の具体的技術指導を行った。基礎ゼミ I では、『日本霊異記』を素材として、調査・考察・発表資料作成・発表・レポート作成等の具体的指導を行った。

大学院博士前期課程では日本上代文学演習の授業を担当し、大伴家持の作品分析についての指導を行った。また修士論文作成のための指導を行い、修士論文を完成させた。

## ◆将来の研究計画・研究の展望

---

---

『出雲国風土記』の感情表現と実況記事の分析を進め、それを通して『出雲国風土記』にとっての説話の意味についての研究を深める。

## ◆受験生等へのメッセージ

---

---

『古事記』『風土記』『万葉集』など日本上代の文学は、1300年も前に書かれたものです。古代の人々の、現代とは大きく異なるものの考え方・感じ方がうかがえますが、それだけにかえって、現代の私たちの中に埋没してしまっているものを、はっと気づかせてくれたりするのです。古典を学び研究することは、現代を考えることにつながると、私は思っています。上代の作品にも、ぜひ目を向けてみてください。